



平成 27 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 遠 藤 製 作 所
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 長 谷 川 実
(J A S D A Q ・ コ ー ド 7 8 4 1)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 門 佐 藤 俊 明
役 職 ・ 氏 名 担 当 兼 経 営 企 画 部 長
電 話 番 号 0 2 5 6 - 6 3 - 6 1 1 1

当社連結子会社における当社元取締役による不正行為に関するお知らせ

この度、誠に遺憾であります。当社の連結子会社である ENDO STAINLESS STEEL (THAILAND) CO., LTD. (以下「ESST 社」といいます) におきまして、当社元取締役による不正行為が判明いたしました。当社の株主・投資家の皆様をはじめ、市場関係者の皆様及び取引先の皆様に、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

現在、不正行為の内容の詳細、影響金額を含め、真相解明のため鋭意調査中ではありますが、現時点で判明している事項につきまして、取り急ぎ下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 不正行為の概要と判明の経緯

当社元取締役は、ESST 社に常駐し平成 21 年 4 月から同社の現地責任者の立場でありましたが、平成 27 年 9 月の内部通報を契機として社内調査を進める過程で、元取締役がその立場を利用した ESST 社の会社資金横領の疑念が生じ、平成 27 年 11 月下旬、現地調査を実施したところ、平成 21 年頃から不正行為発覚までの約 7 年間、虚偽・架空の経費計上により、自身の旅費交通費や飲食代等を不当に請求し、会社資金を私的に流用した不正行為が判明いたしました。

なお、元取締役は平成 27 年 11 月 26 日付で当社取締役を辞任しております。

2. 調査委員会の設置

当該不正行為に対し、事実関係の徹底した調査・検証と有効な再発防止策の策定のため、本日、調査委員会の設置を決定いたしました。なお、調査結果につきましては、平成 28 年 1 月末までを目途に、取りまとめてご報告する予定であります。

調査委員会の委員は下記のとおりです。

| | | |
|------|-------|------------------|
| 委員長 | 相馬 卓 | (当社社外監査役 弁護士) |
| 副委員長 | 佐藤 俊明 | (当社常務取締役管理部門担当) |
| 副委員長 | 村田 國弘 | (当社タイ統括駐在室長) |
| 委員 | 岩尾 秀之 | (当社常勤社外監査役 独立役員) |
| 委員 | 佐野 榮偉 | (当社社外監査役 税理士) |
| 委員 | 片山 隆二 | (当社社外取締役) |

※上記のほか、数名の調査補助者を置きます。

3. 業績への影響

当該不正行為による被害額は、現在調査中ではありますが、現時点においては約 63 百万円(約 195 百万円)程度と推定しております。上記調査委員会による調査結果を踏まえ、被害額が明らかになり次第、業績への影響につきましては、速やかにお知らせいたします。

4. 今後の対応について

当社は、上記のとおり調査委員会を設置し、被害金額を含む不正行為の真相解明、原因の究明、再発防止策等を検討してまいります。調査結果につきましては、まとめ次第、ご報告するとともに、過年度の決算における決算訂正等の手続きが必要であると判明した場合は、速やかに訂正処理を行なってまいります。

なお、平成27年12月4日にESST社から現地のタイ警察署に被害届を提出しております。また、被害金額については、法的手続きに基づいて回収に努めてまいります。

当社が、この度の不正行為を未然に防止することが出来ず、また、7年間もの長期にわたりその事実を把握できず、不正行為を見過ごしてきたことを厳粛に受け止め、深く反省いたすとともに、全社の役職員が一丸となり、再発防止策を実行し、信頼の回復に全力で取り組んでまいりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

以 上